

第3回東日本大震災復興支援
野球狂の会チャリティーマッチ実績報告書



Official Facebook Page URL:

<https://www.facebook.com/weareballone>

野球狂の会とは？ We are (B)all one!! (ボール一つから繋がる奇跡！！) を合い言葉に集まった野球を愛するメンバーです。野球に狂うほど情熱があるのなら国籍も人種も関係ない！！ということでお日本はもちろんアメリカ、カナダ、オーストラリア、オランダ、メキシコ、ドイツ、フランス、チェコ共和国、韓国、台湾、中国などでワールドワイドに野球をプレーした経験を持つ選手たちの集まりです。

2013年11月2日、

以下の通り第3回東日本大震災チャリティーマッチの報告を致します。

<趣旨>

2011年に河川敷で行われた野球狂の会チャリティーマッチ。2011年、3月11日に東北沖で起きた東日本大震災の被害は今も大きな爪痕を残していて、本当の復興までにはまだ多くの時間を要すると伺っています。そこで、私たち野球狂の会は、野球人が集まり、野球人だからこそできる事で恩返しをすることに決めました。東北ではいまだにグラウンド確保が難しい状況や、野球道具もまだまだ不足していると現地の方から伺っています。そこで私たち野球に関わる人間が集まって、力を合わせて、せめてもの思いとして野球道具をはじめとした物資を集めて、東北に送らせて頂きたいと考えました。そのことを実現するために海外リーグに行ってまで野球をプレーした野球をこよなく愛する人たちが立ち上りました。今回は森田健作現千葉県知事が総監督として率いる、千葉熱血 Making さんをはじめ、多くの方々のご協力を得て、チャリティーマッチを開催する案が決定いたしました。

1. 開催日：2013年11月2日（土）
2. 開催場所：八千代総合運動公園野球場(千葉県八千代市)
3. 主催：野球狂の会実行委員会
4. 後援：八千代市文化・スポーツ振興財団、八千代市少年野球連盟
5. 協賛：(株)BMI、千葉熱血 Making、ピーエスエス(有)、ベースボールフィールド 紫染屋、菊地星作所、麺屋ばんどら、こてメン堂、Cafe ふくろう、
6. 総動員数：約450名

当日のタイムスケジュール

9:00～10:00

- ・ウォーミングアップ含めた BP(サイドノックなど、試合の準備)

10:20～11:30

- ・趣旨説明(代表:三好貴士)
- ・ホームラン競争(各チーム 3名+来場者 3名、7スイングずつ)
- ・ベースランニング競争(お客様中心で 36名集めて各ベースに 9人ずつ振り分けます。)

11:45頃～

- ・チャリティーマッチ開始(特別ルールとして 7イニング)

14:00頃～

- ・野球教室(1時間)

15:15頃～

- ・海外野球経験者によるトークショー(30分)

MC: ハッシー

ゲスト: 三好貴士(米・プロ野球コーチ)

河野和洋(社会人、米・プロ野球)

清水広貴(中国・プロ野球)

田久保賢植(チェコ・プロ契約枠)

坂間悠希(コロンビア・プロ)

16:00～

- ・サイン会、交流会
(グラウンド、もしくは球場外での選手との交流の時間になります)

出場メンバー

詳細は別紙を参照ください。

【監督】

- ・三好貴士(グランドプレーリー・エアホッグス)

【投手】

- ・相原雅也(高知ファイティングドッグス)
- ・坂間悠希(アルパイン・カウボーイズ)
- ・堂脇健伸(フロリダ・マーリンズ傘下)
- ・島内博史(ミキハウス)
- ・大島崇仁(三重スリーアローズ)

【捕手】

- ・平泉悠(石川ミリオンスターズ)

【内野手】

- ・肥田貢次(群馬ダイヤモンドペガサス)
- ・今井政司(新潟アルビレックスBC)
- ・安田裕希(オークレア・キャバリアーズ)
- ・坂梨宏幸(ヴィエナ・ワンダラーズ)
- ・ジョー・ウィルソン(ヴィエナ・ワンダラーズ)

【外野手】

- ・田久保賢植(アルパイン・カウボーイズ)
- ・松尾祐介(JFE 東日本)
- ・清水広貴(中信ホエールズ)
- ・大谷尚輝(ネットウーノ・ベースボールクラブ)

～主な活動内容～

・企業、支援者の協賛

東日本大震災が起こった事をきっかけに、野球に育てられた野球人として自らできることとして始めたこのチャリティーマッチの趣旨をご理解頂いた企業、支援者様から協賛金や物品提供をして頂きました。ゲーム当日に協賛頂いた企業、支援者様の紹介ブースを設け、物品販売を行ったり、スピードガンコンテストやストレッチ教室などを開催しました。試合中にはイニングごとに協賛・支援して頂いた企業や支援者様をアナウンスでご紹介させて頂きました。

・Web広告・告知用チラシの作成

当イベントの顔となるフライヤーを作成して、参加選手や支援者様のブログ、SNSであるFacebook等での拡散・告知を行いました。また、自治体や球場、後援協賛してくださった店舗等において、ポスター掲載をさせて頂きました。

・募金活動&チャリティーマッチ用ティーシャツの販売

チャリティーマッチの一環として募金箱を設置し、来場者や参加者の皆様には募金のお願いをしました。またこのイベント用にティーシャツを作成し、販売しました。

・ホームラン競争

試合前に野球狂の会選抜チームから3名、千葉熱血Makingから3名、来場者様（お客様）から3名の計9名に参加してもらって、各7スイング中で1番多くホームランを打った人に協賛企業の『ベースボールフィールド』様から賞品を贈呈しました。

・ベースランニングレース

当日来ていただいた少年少女36名にグラウンドに降りてきて貰って、4か所のベースに9人ずつ+チャリティーマッチ出場メンバーから俊足4名を各ベースのアンカーとしてレースを行いました。優勝チームには協賛企業である『ベースボールフィールド』様からの賞品を贈呈いたしました。

・ファンサービス

試合前にスタンドへのボールの投げ入れ、試合後のサインブース設置によるサイン会、協賛企業からの景品をお客様にプレゼントさせて頂いています。

・音楽付きの選手紹介

事前にお気に入りの曲を各選手から回収をし、打席に入る際やマウンドに上がる際に入場曲を流しました。また、イニング間やイベント最中にも音楽をかけて場をエンタティメント性の高い空間に作り上げました。

・プロのスタジアムDJによるイベント進行

ラジオのパーソナリティーからイベントMC、プロ野球独立リーグでスタジアムDJなど幅広く活躍されている橋本卓也氏による英語を交えた関西弁でのアナウンス、試合進行を行つていただき、普段味わうことのできないボールパークの空気を味わって頂きました。

・野球狂の会選抜チームVS千葉熱血Makingによるチャリティーマッチ

選抜2チームによる試合（チャリティーマッチ）を行い、日本のプロ野球だけでなく、海外プロ野球リーグなどでプレーした選手たちの技術を披露しました。

・野球教室の開催

八千代市野球連盟の全面的なご協力を得て、所属している少年野球チームに声掛けをして頂き、参加してくれた子供たちの数は約120名になりました。また、連盟からの依頼として開催した指導者講習には約30名の各少年野球チームの監督・コーチに参加をして頂きました。またこの野球教室では従来と違い、怪我をしない体作りのためのセッションを設け、トレーナーの方々にもご協力を頂き、体の使い方の講習も子供たちに向けて行いました。

・海外プロ野球経験者によるトークショー

メジャーリーグがあるアメリカにとどまらず、台湾、中国、コロンビア、オーストリア、チェコ、韓国、オーストラリアなどでプレーをした5選手に今回のスタジアムDJである橋本卓也氏による進行のもと、5選手からは海外野球を目指すきっかけや経験談を聞き、野球に対する価値観を広げてもらうためのトークショーを開催いたしました。

・飲食店の展開

八千代総合運動公園野球場から飲食販売の許可を頂いて、当日飲食販売の許可を得ました。実際の飲食店様が臨時休業までしていただき、当日はお店を開いて頂きました。麺屋ぱんどう様からは炭を使った網焼きチャーシュー丼、こてメン堂様からは特製のから揚げ、Cafeふくろう様からはマスター直々の特製珈琲、その他にもボランティアスタッフの協力でチゲ鍋やサンドイッチなどを販売。多くの来場者に大変ご好評を頂きました。

※チャリティーマッチにて球場で販売をしたティーシャツです。選手、来場者の皆様のご協力を頂いたことで、合計85枚を売り上げることができました。



当日に来場者様・協賛企業様よりご協力頂いた募金、飲食店の出店による売り上げ、またチャリティーマッチティーシャツ販売による売り上げは以下の通りとなっています。

飲食販売による売り上げ・募金 52,185 円

チャリティーマッチティーシャツ 85 枚 68,000 円

合計 120,185 円

～チャリティーマッチ当日の様子～



